

たがみざんほうしゅうじほんどう
谷上山宝珠寺本堂

●所在地／上吾川谷上山 宝珠寺 ●所有者／宝珠寺

この本堂は間口3間、奥行5間、入母屋造り、向拝は軒唐破風、絶破風。建築様式は禅宗様式を基本としている。明治期に全体として禅宗様(唐様)を倣って建築した県内には他にない例と言える。

「谷上山本堂造作中萬帳」から、本堂建築は明治25年(1892)より始められ、明治38年(1905)に竣工されたことが分かる。建築に当たった棟梁は下三谷の川中夏吉、「伊予の左甚五郎」と呼ばれた有名な大工である。

